

事業所名

放課後等デイサービス事業所幸愛

支援プログラム

作成日

2025 年 3 月 31 日

法人（事業所）理念		子供の発達に応じて、総合的に発達を促せるよう一人ひとりに無理のない計画をたて支援していきます			
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 保護者と学校との連携を図りながら支援していきます 「第二の家」と思ってもらって安心して過ごせる居場所を提供します 地域との交流を行なっていきます 			
営業時間		学校開業日 10 時 00 分から 19 時 00 分まで	学校休業日 9 時 00 分から 18 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり 学校→事業所、事業所→自宅、自宅→事業所 活動場所→自宅
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活におけるライフスキル（生活スキル）については、あいさつ・手洗い・トイレの使い方・衣服の着脱・買い物・調理等の活動を通じて習得し、生活習慣や生活リズムを形成できるようサポートします。 本人の発達段階（ライフステージ）と生活環境を把握し、繰り返しの支援（日々の活動）を行うことで本人ができる形での定着を図ります。 学校生活や自宅での生活の様子等を共有し、日常生活が本人らしく落ち着いた環境で過ごすことが出来るように一緒に考えて助言します。 子供の身体に関するアセスメントをしっかりと把握し、日々の活動中での姿勢や表情、様子を常に観察して配慮をした形での関わりを持ちます。 適切な生活習慣や生活リズムが獲得できるよう支援します。 日常生活における時間やお金の管理・計画性などのマネジメントスキルが向上するよう支援します。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活動作の維持や向上の為に、微細運動（工作・創作活動や個別課題等を通じた手や指先などの小さな筋肉を使って行う細かい動作、字を書く・絵を描く・箸を使う積み木やビーズで遊ぶ）、粗大運動（体幹運動やサーキットトレーニング、集団遊びや公園での運動等を通じた大きな動きを伴う運動、姿勢を保つ・バランスをとる・座る・立つ歩く・走る）を行い支援します。 感覚過敏及び感覚鈍麻などの特性に合わせた配慮や環境設定を行い支援します。 見る・触れる・聞く・話すなど、子供の感覚の特性や偏りを踏まえながら、五感に訴える活動や子供の感覚刺激を満たすような活動を行います。 運動機能向上を意識した遊び（公園遊具を使った遊び・集団での遊び）を行います。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 生活しやすい環境を整える為に、事前に子供や保護者様と相談をし生活リズムや困難さや、苦手と感じる部分を理解した上で支援員とともに少しずつ支援していきます。 個々に合わせた認知活動の課題を設定し支援します。 自らの「知りたい」や「学びたい」という気持ちが育つように自信がつくような促しと関わりを行って支援します。 感覚を十分働かせながら、物の扱い方や仕組みなどの理解を促していけるよう支援します。 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害への予防及び適切な行動への対応の支援を行います。 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 大人（支援員）との関わりの中で他者との円滑なコミュニケーションを学べる支援を行います。 大人（支援員）との関わりによって得られたスキルを、同年代や年上、年下とのやり取りにつなげ気持ちを言葉や身体で表出し、相手に伝えることにより自身の気持ちをコントロールできるよう促していきます。 子供達同士での遊びの中で、言葉の理解や表出、文字を読む力や書く力が向上するよう活動の場を提供します。 場や状況に応じた適切なコミュニケーションができるよう、やり取りの中で話の前後を想起確認したりしながら支援します。 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活や日常生活の中で人間関係について自身の考えと相手の意見を聞き、自身の行動に活かせるような機会を設けます。 SST（ソーシャルスキルトレーニング）やLST（ライフスキルトレーニング）において想定される場面をそれぞれ設定して適切な人間関係や社会性を習得します。 自身の生活の中で不安なことや疑問などを支援員だけでなく身近な人に伝えることができるよう支援します。また不安なく落ち着いた気持ちで自分らしく生活を送ることが出来るようサポートを行います。 自身の感情や自身の気持ちに関心を持ち、自己の理解を深めながら安定した情緒で日々過ごすことができるよう支援します。 			
家族支援	事業所として子育ての悩みへの相談による助言やきょうだい児への相談による助言、家庭での養育を支える支援を行います。 学校生活における悩みや課題についても、各関係機関と連携して対応します。 また情報提供や共有をいたしまして、研修会や保護者会等を通じて情報や支援方法を共有し、家族及び家族間の知識を深めることができるような場を提供します。	移行支援	通われている学校においては、学校への助言や情報共有を行います。 進学・進級のサポートとして、学校選びや入学試験（主に面接）の対策、必要に応じてサポートブックの作成や助言、活用法等の助言を行います。社会体験活動として、就労施設見学体験やお仕事体験を通じて職場で必要なスキルを学ぶとともに、社会の厳しさを知る機会を設けます。		
地域支援・地域連携	地域の体育館や児童館、公共施設を利用して地域資源を活用します。SNSの活用により、地域に活動内容や障害についての理解を広めます。学校や他福祉サービスと連携して包括的な支援体制を整えます。	職員の質の向上	定期的な事業所内研修の実施、資格取得支援制度を活用して外部研修費用補助を行いスキルアップを促し職員の専門性を高める。働きやすい職場環境の整備に努め職員のストレス軽減を図っています。		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会（年3回） 地域イベントへの参加（年3回） 就労施設見学体験（年1回） 季節の行事（歓迎遠足、夏祭り、クリスマス会、ハロウィン、誕生日会など） 				